

松山市駅前広場整備実施計画



令和5年10月26日
都市・交通計画課

• 市駅前広場整備のコンセプト	• • • •	1
• 市駅前広場の施設配置	• • • •	3
• 市駅前広場の景観デザイン	• • • •	4
• 通行ルール変更のスケジュール	• • • •	8
• 周辺の駐輪対策	• • • •	14

市駅前広場整備のコンセプト

コンセプト

人々の往来と賑わいを「つなぐ」松山の交通・交流拠点

～「歩いて暮らせるまち松山」の交流広場～

広場空間を活用し、花園町通りや銀天街・大街道など各地区の個性あふれる取組みと連動しながら、人の賑わいを『つなぐ』



市内最大の交通結節点である松山市駅を起点に、城山公園や業務・商業エリアへと人の流れを『つなぐ』

「いで湯と城と文学のまち松山」の歴史と文化を感じさせる空間として『つなぐ』

実現に向けた整備メニュー

人々の往来を『つなぐ』

- ◆ 郊外電車と市内電車の近接化
- ◆ バス・タクシー・一般車乗降場の適切配置
- ◆ 地下街へのスムーズな動線確保
- ◆ 待合所・トイレ・駐輪場

人々の賑わいを『つなぐ』

- ◆ 交流広場の拡大（憩いと賑わいの空間整備）
- ◆ 城山公園～花園町通り～市駅～銀天街への連続性を感じる動線（統一的な舗装・照明灯）
- ◆ 緑の創出（樹木、芝生）
- ◆ ベンチ

松山の歴史・文化を『つなぐ』

- ◆ 松山城や道後温泉をつなぐネットワーク拠点に相応しい石・鉄・木など「本物の素材」を使用した景観デザイン
- ◆ 「お日切りさん」など地域文化に活用できる空間の創出

機能配置

【憩いゾーン】
待ち合わせや休憩など、誰もがゆっくりとした時間を過ごせ、くつろげる「憩い」のゾーン

人の賑わいをつなぐ

- 人の視線に配慮し、滞留がしやすくなるためのベンチや緑（植栽や芝生）、日除けを配置。
- デッキテラスや芝生によって、居心地の良い空間を創出。
- 夜間でも居心地がよい「明るさ」の確保。

松山の歴史・文化をつなぐ

- 城山公園の豊かな緑や、松山城の石垣、道後温泉周辺の照明などを連想させる景観デザインに配慮。
- 松山の観光資源である市内電車を間近に感じられるベンチ等のレイアウトを行う。

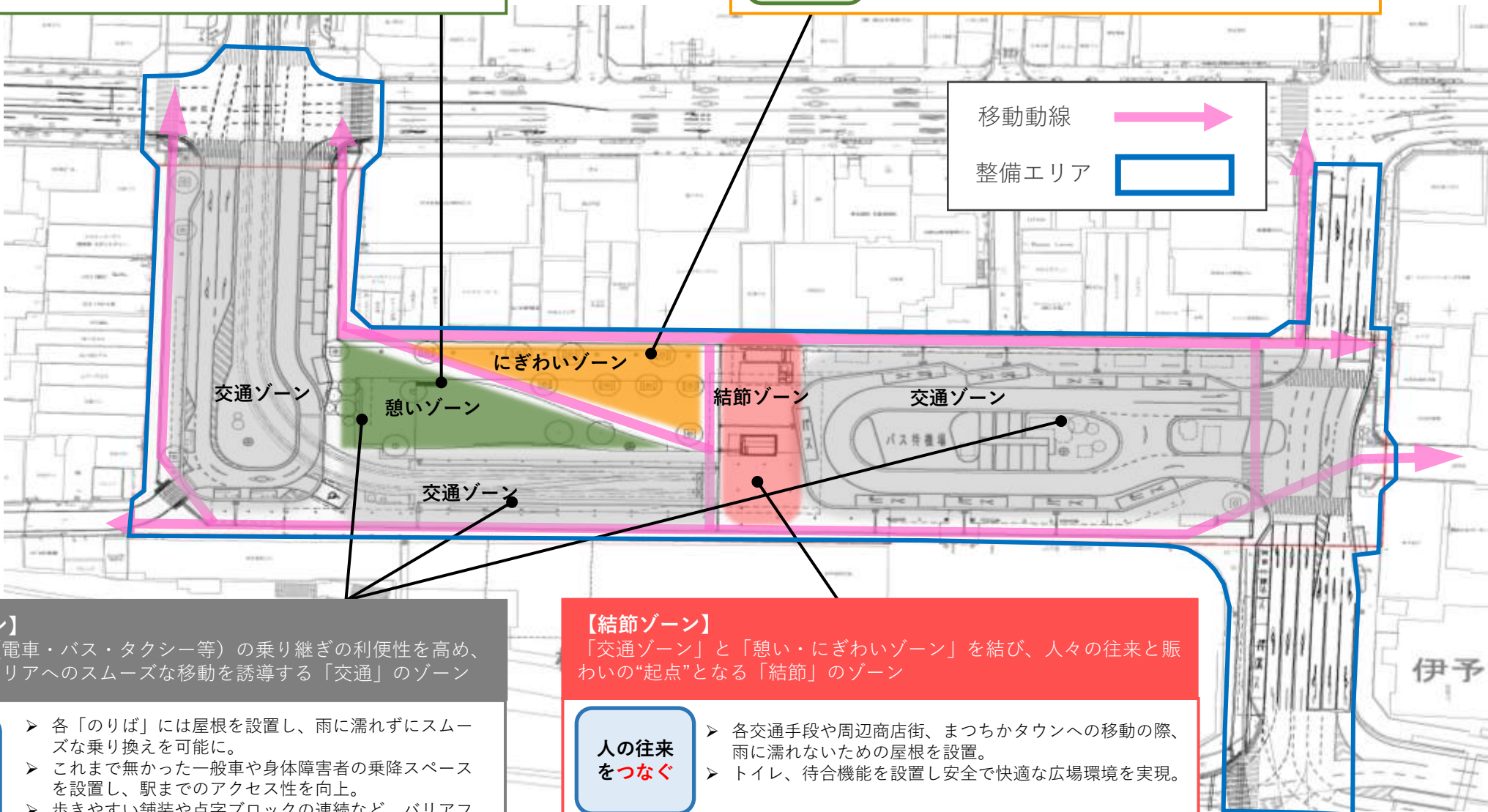
【にぎわいゾーン】
広域からの集客を呼び込むイベントや、地域の魅力を感じるマルシェなど、広場から松山の魅力を発信する「にぎわい」のゾーン

人の賑わいをつなぐ

- イベント時に、機材搬入やテント等の設置が容易な舗装仕上げとし、イベントに必要な電源・給排水等の設備も配置。
- ベンチ・植栽を東西方向に並べて配置し、花園町通りから広場を通り銀天街までの連続性を演出。

松山の歴史・文化をつなぐ

- 松山城や花園町通り、道後温泉まで、街並みの連続性や統一感が感じられるよう、舗装・照明灯・柵等のデザインに配慮。
- 沿線商店街との一体的な空間活用によって、「日切り地藏祭り」など大規模な催事にも活用可能。



【交通ゾーン】
各交通手段（電車・バス・タクシー等）の乗り継ぎの利便性を高め、業務・商業エリアへのスムーズな移動を誘導する「交通」のゾーン

人の往来をつなぐ

- 各「のりば」には屋根を設置し、雨に濡れずにスムーズな乗り換えを可能に。
- これまで無かった一般車や身体障害者の乗降スペースを設置し、駅までのアクセス性を向上。
- 歩きやすい舗装や点字ブロックの連続など、バリアフリーに配慮した路面整備を実施。

【結節ゾーン】
「交通ゾーン」と「憩い・にぎわいゾーン」を結び、人々の往来と賑わいの「起点」となる「結節」のゾーン

人の往来をつなぐ

- 各交通手段や周辺商店街、まつちかタウンへの移動の際、雨に濡れないための屋根を設置。
- トイレ、待合機能を設置し安全で快適な広場環境を実現。

人の賑わいをつなぐ

- 大屋根は、東西の商業エリアを直接見通せ、街の連続性を感じられる、アーチ形を採用。
- 大屋根の下は、雨天時のイベント空間としても活用。

松山の歴史・文化をつなぐ

- 松山城や花園町通り、道後温泉まで、街並みの連続性や統一感が感じられるよう、それらの「起点」にふさわしい舗装・照明灯・柵等のデザインに配慮。

市駅前広場の施設配置

市駅前広場の施設配置

- 各「のりば」に屋根を設け、バス待合所にはトイレを整備します。また、交流広場にはベンチや緑を配置します。
- 花園町通りから銀天街入口まで一体的な整備を行います。



西側（花園町方面から）全景



東側（銀天街方面から）全景



市駅前広場の景観デザイン

■舗装



歩道部には、主に御影石舗装を採用し、花園町通りの舗装パターンに合わせた整備とし、花園町通りから銀天街入口までの連続性を確保します。



交流広場は、温かみがあって足触りがやさしく、耐久性の高い自然素材である煉瓦舗装を採用します。

■照明、車止め



車道照明

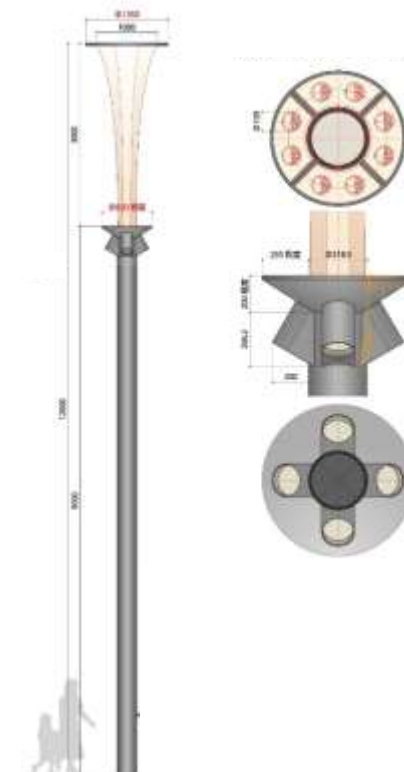


歩道照明



車止め

車道照明、歩道照明、車止めは、花園町通りとの連続性を持たせるため、同じデザインを採用し、ロープウェイ通りや道後温泉周辺で使用しているものと素材（鋳鉄）やデザイン（波型表面）、色彩も統一します。



ランドマーク照明は、駅前広場を中心に東西の商店街をつなぐ役割を担い、灯具は花形の八角断面で、これを間接光で浮かび上がらせます。

■大屋根



電車、バス、市内電車などの乗り換えの結節となる部分であると同時に、交流広場に連続した大屋根。アーチ状にして東西の見通しを良くし、天井には県産材の木製ルーバーを伴ったトップライトを設置します。

■市内電車の電停



電停の屋根は、大屋根とも呼応する木製ルーバーのガラス天井としています。

■各「のりば」の屋根



バスやタクシー、身障者、一般車用乗降場の屋根は、沿道の建物景観に溶け込むシンプルな形状としています。

■ベンチ



バス停のベンチは、波型表面のアルミ casting ベンチを採用し、金属であっても冷たすぎたり暑すぎたりしないよう配慮しています。交流広場のベンチには、植栽柵に組み合わせて、イベント時に活用可能な電源装置を組み込みます。

■交流広場全景（銀天街方面を望む）



■交流広場全景（花園町方面を望む）



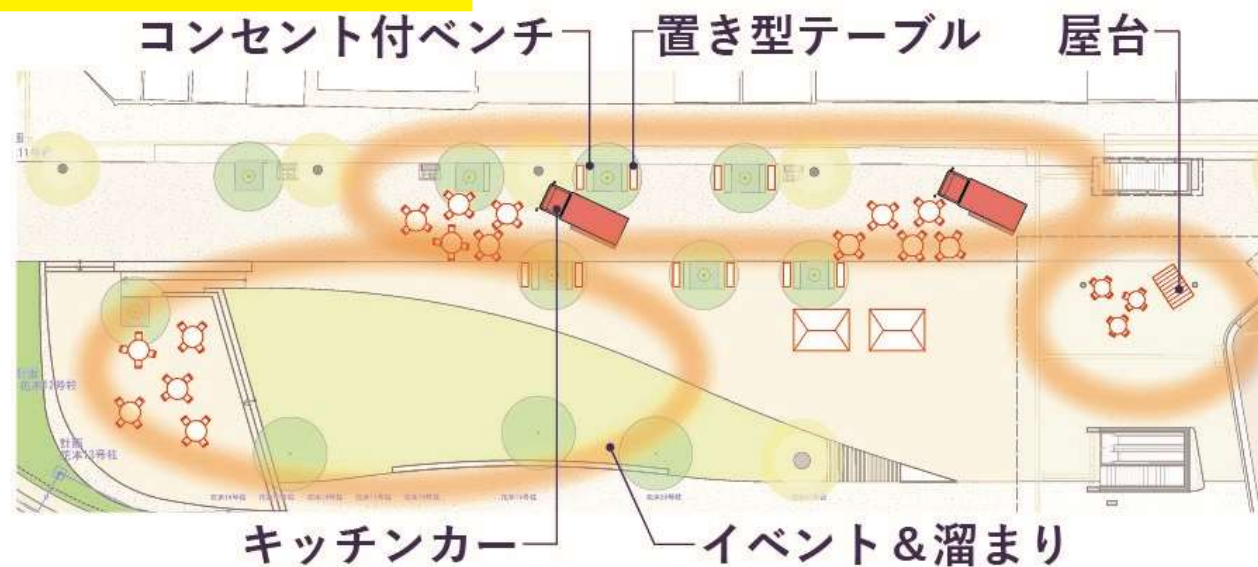
■交流広場全景（銀天街方面を望む）【夜間】



■交流広場全景（花園町方面を望む）【夜間】



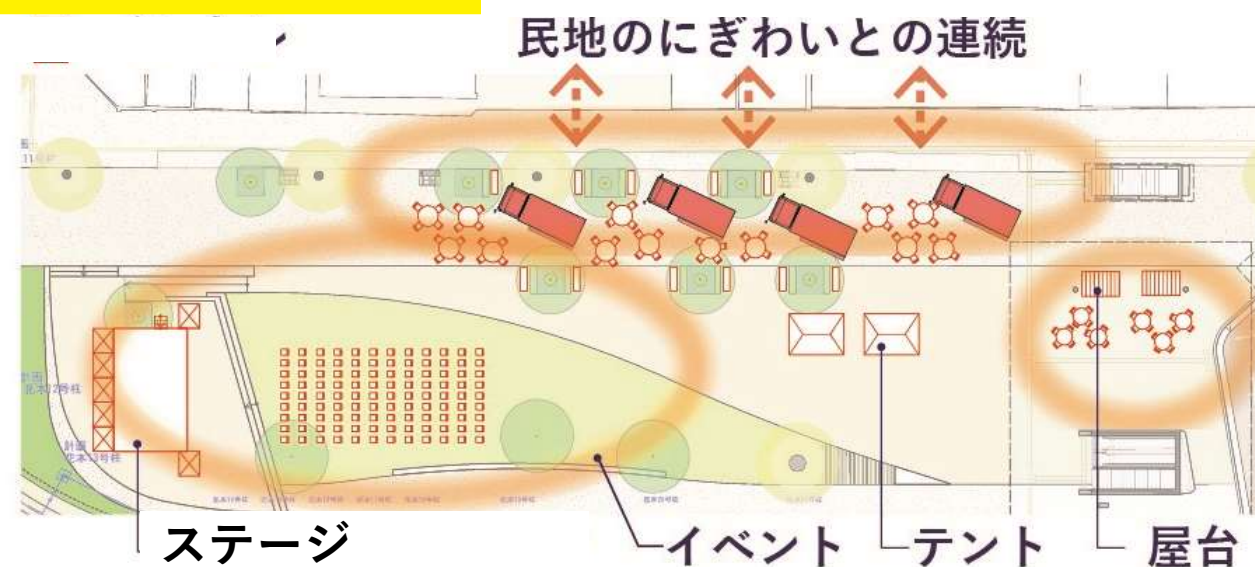
中規模イベント時



週末にはマルシェやフリーマーケットなど、様々なイベントが催され、キッチンカーや置き型のテーブルと椅子が並びます。



大規模イベント時



大規模イベント時には、交流広場西側の煉瓦テラス上にステージが組み立てられ、観客席もできます。周辺にはキッチンカーや置き型のテーブルと椅子が多数並びます。



通行ルールの変更スケジュール

通行ルール変更のスケジュール

- ・広場整備や市内電車の線路移設に伴い、広場内の通行ルールが変更になるため、市民の皆様には十分な広報周知を行います。
- ・通行ルールの変更は、3段階（ステップⅠ～Ⅲ）を予定しています。

■スケジュール

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
通行ルール		ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ
広場整備		東西ロータリー整備工事		交流広場
市内電車の線路移設		移設工事		

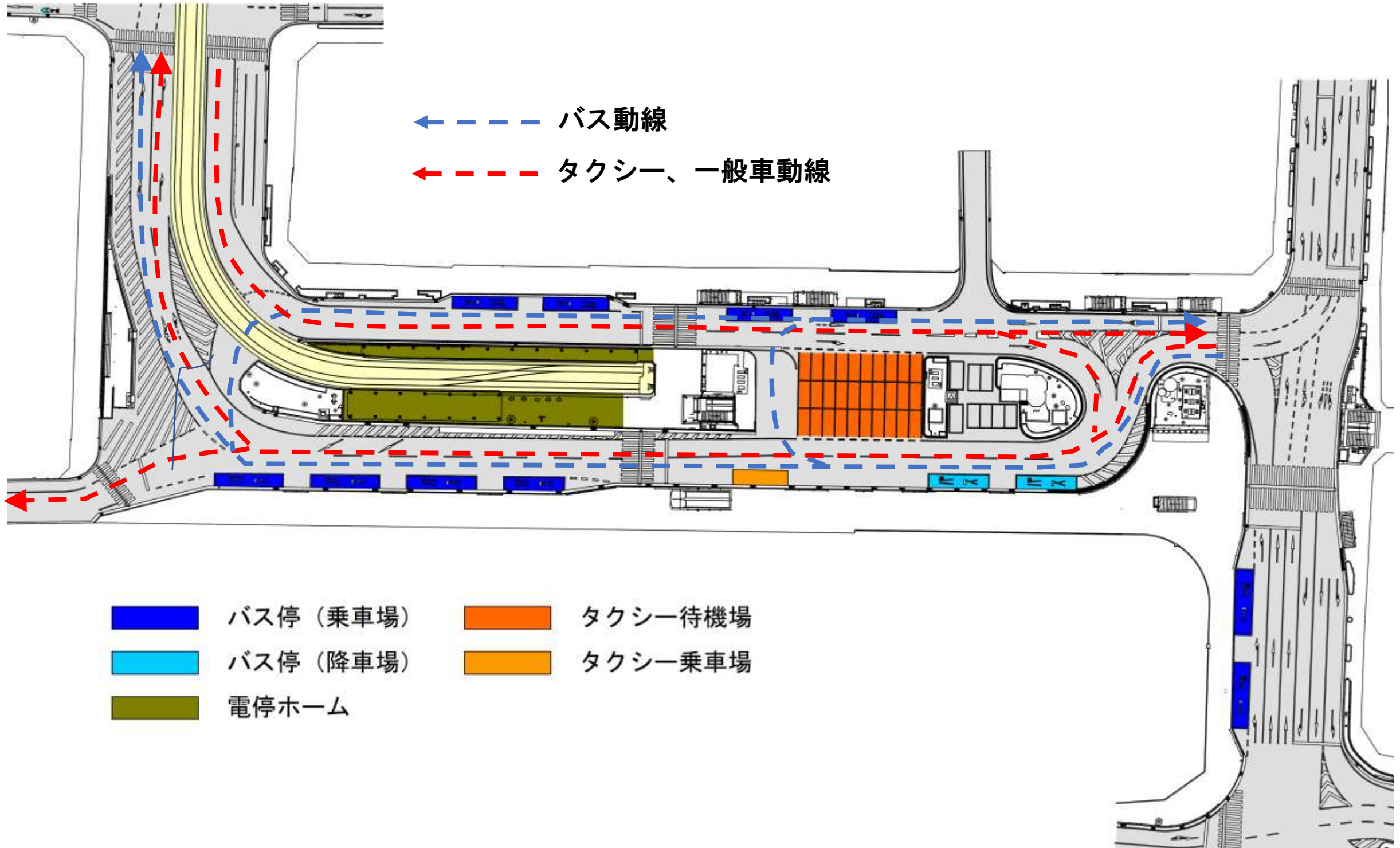
（注）スケジュールは現時点の想定です。関係者との調整や予算措置状況などにより変更となることがあります。

■広報周知計画

対象	方法	内容・仕様
市内広域	広報紙	広報まつやま
	テレビ	「大好き！まつやま」「笑顔！松山」「マチ★スキ！」
	ラジオ	広報ラジオ「まつやま笑顔一番」
	Web	松山市ホームページ、LINE
	案内チラシ	リビングまつやまへの折込
	民間情報誌	ウィークリーえひめリック、リビング松山
	ポスター	支所、公民館、関係団体、周辺市町など関係各所

対象	方法	内容・仕様
周辺道路利用者	現地看板	市駅周辺道路 約25箇所
駅利用者	愛媛CATV	ストリートビジョン広告
	車両広告	バス全車両、路面電車全車両
	車内アナウンス	郊外電車（伊予鉄道協力）
	コンコース、まつちか	デジタル広告（伊予鉄グループ協力）
	現地看板	市駅、まつちかタウンの既存看板11箇所
沿線テナント等	チラシ	各商店街、テナント、地権者等への個別配布

■現況

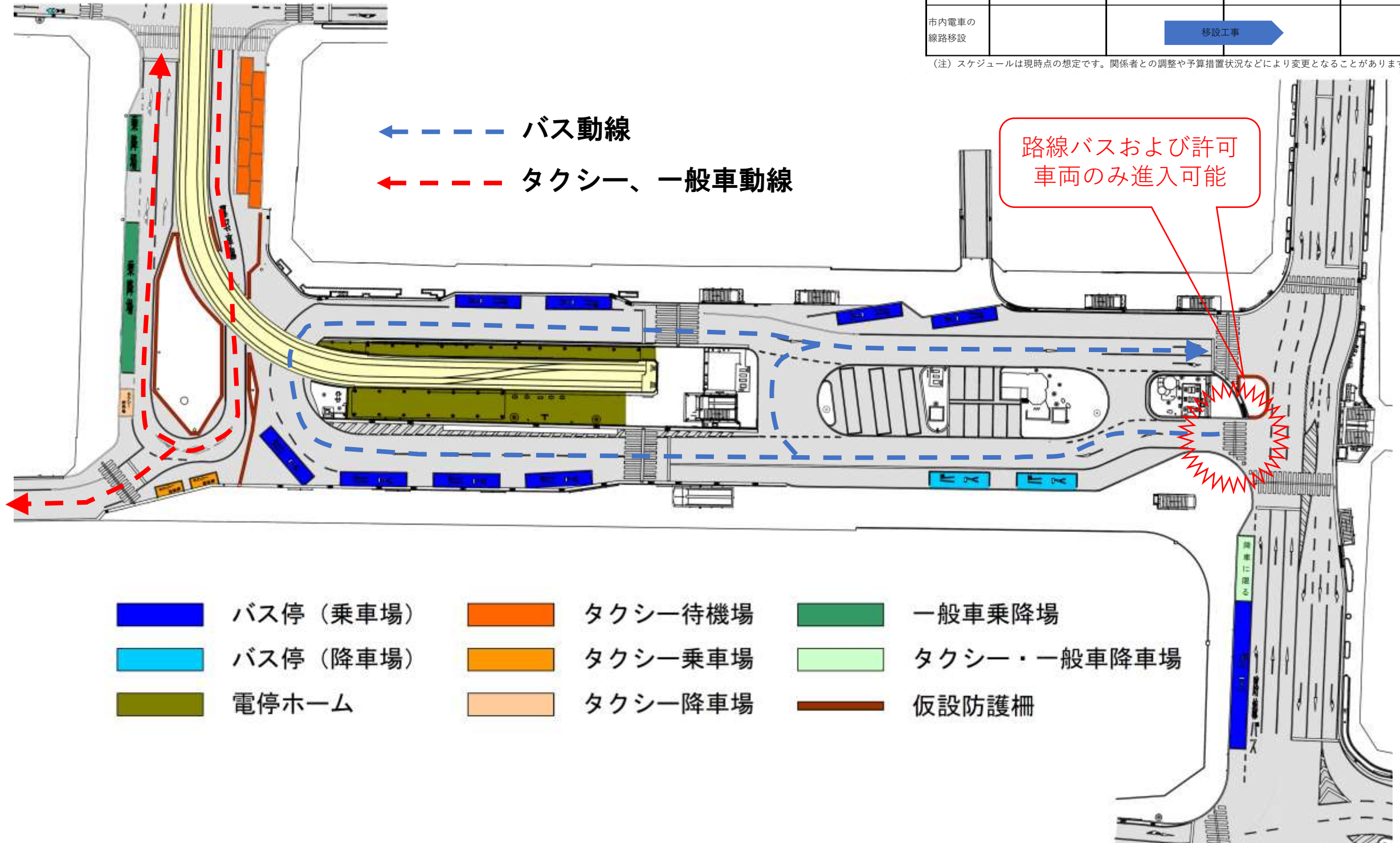


■令和6年夏頃【ステップⅠ】

- ・市駅前ロータリーは路線バス（高速バス含む）および許可車両の通行のみとなります。
- ・西側ロータリーにタクシー待機場・乗車場・降車場、一般車乗降場を設けて、タクシー・一般車はこちらを利用していただくことになります。

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
通行ルール		ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ
広場整備		東西ロータリー整備工事		交流広場
市内電車の線路移設		移設工事		

(注) スケジュールは現時点の想定です。関係者との調整や予算措置状況などにより変更となることがあります。

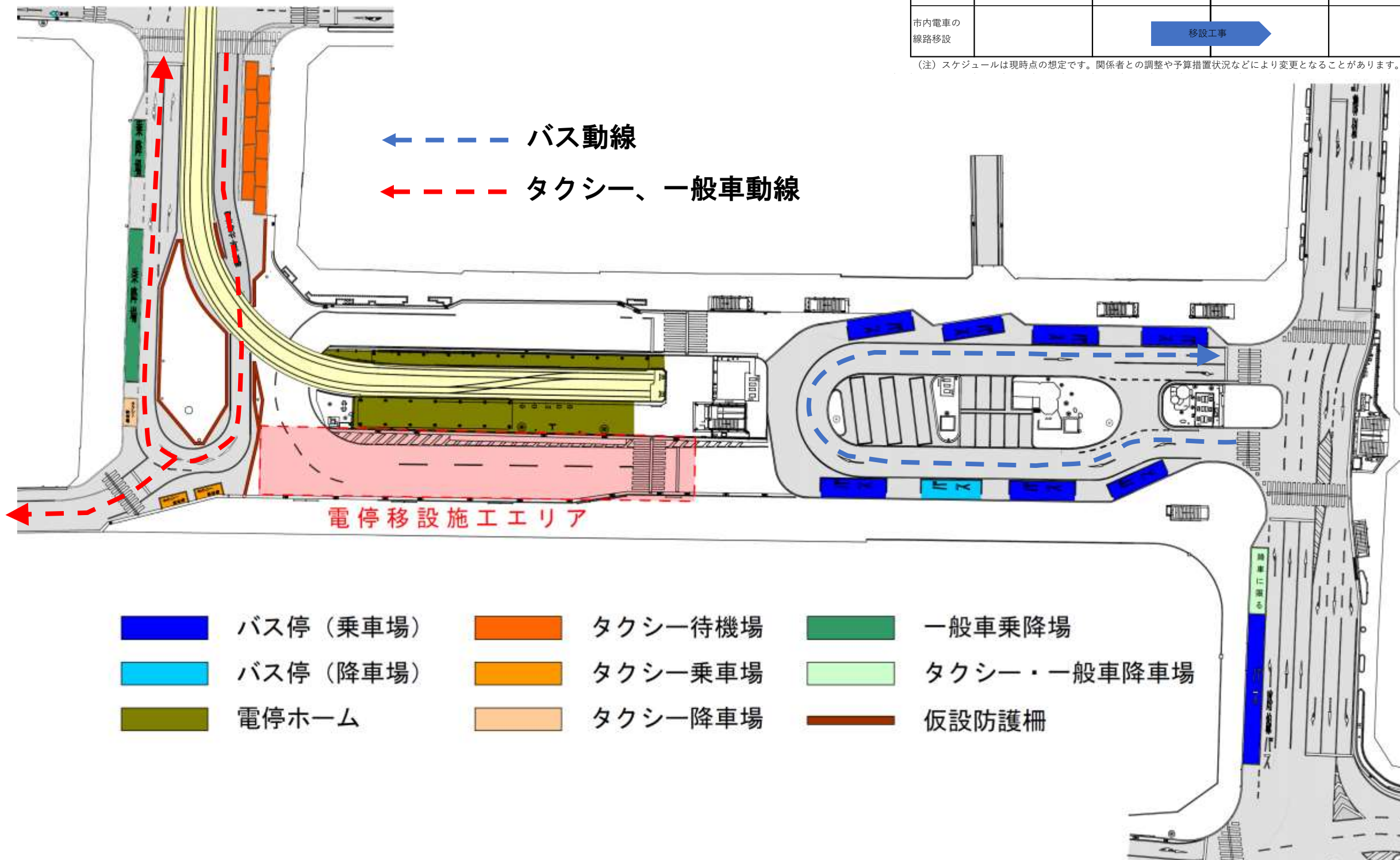


■令和6年秋頃【ステップII】

- ・東側ロータリーの暫定運用を開始するため、バス停を移動させます。
- ・その後、市内電車の線路移設工事に着手します。
- ・なお、市内電車は通常通り運行します。

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
通行ルール		ステップI	ステップII	ステップIII
広場整備		東西ロータリー整備工事		交流広場
市内電車の線路移設		移設工事		

(注) スケジュールは現時点の想定です。関係者との調整や予算措置状況などにより変更となることがあります。

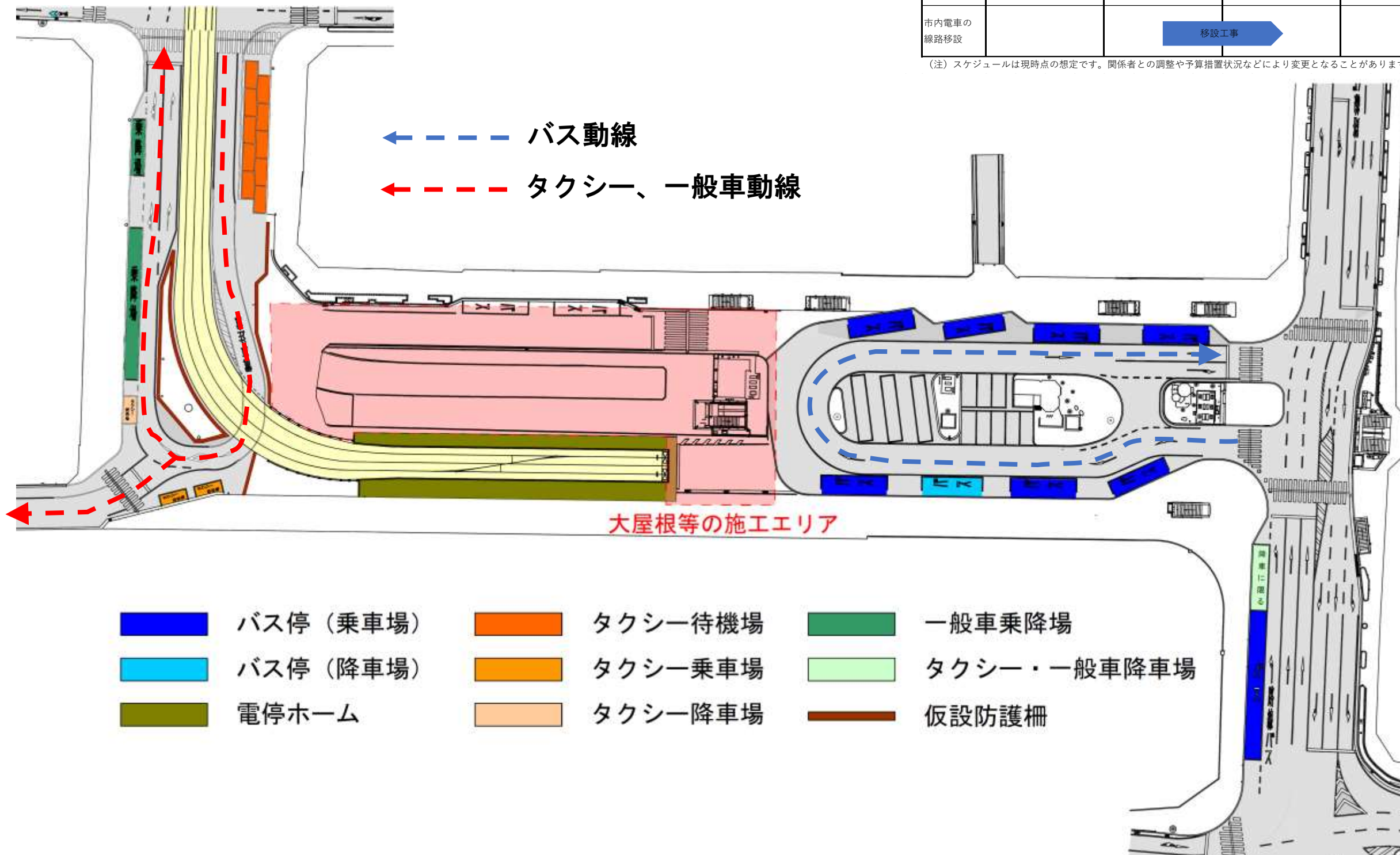


■令和7年秋頃【ステップⅢ】

- ・新電停ホームの運用を開始します。
- ・その後、大屋根等の交流広場の工事に着手します。

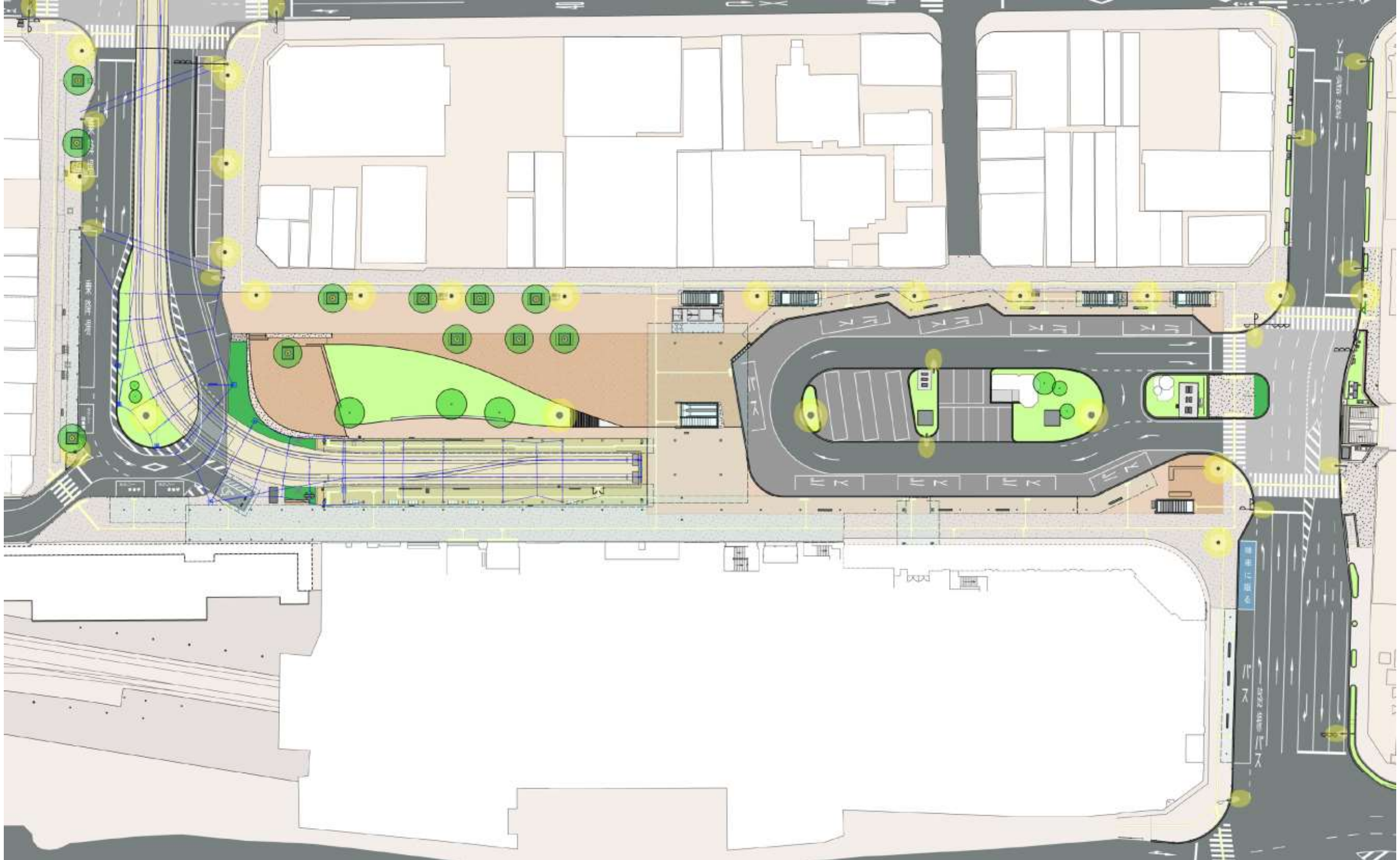
内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
通行ルール		ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ
広場整備		東西ロータリー整備工事		交流広場
市内電車の線路移設		移設工事		

(注) スケジュールは現時点の想定です。関係者との調整や予算措置状況などにより変更となることがあります。



■令和8年末

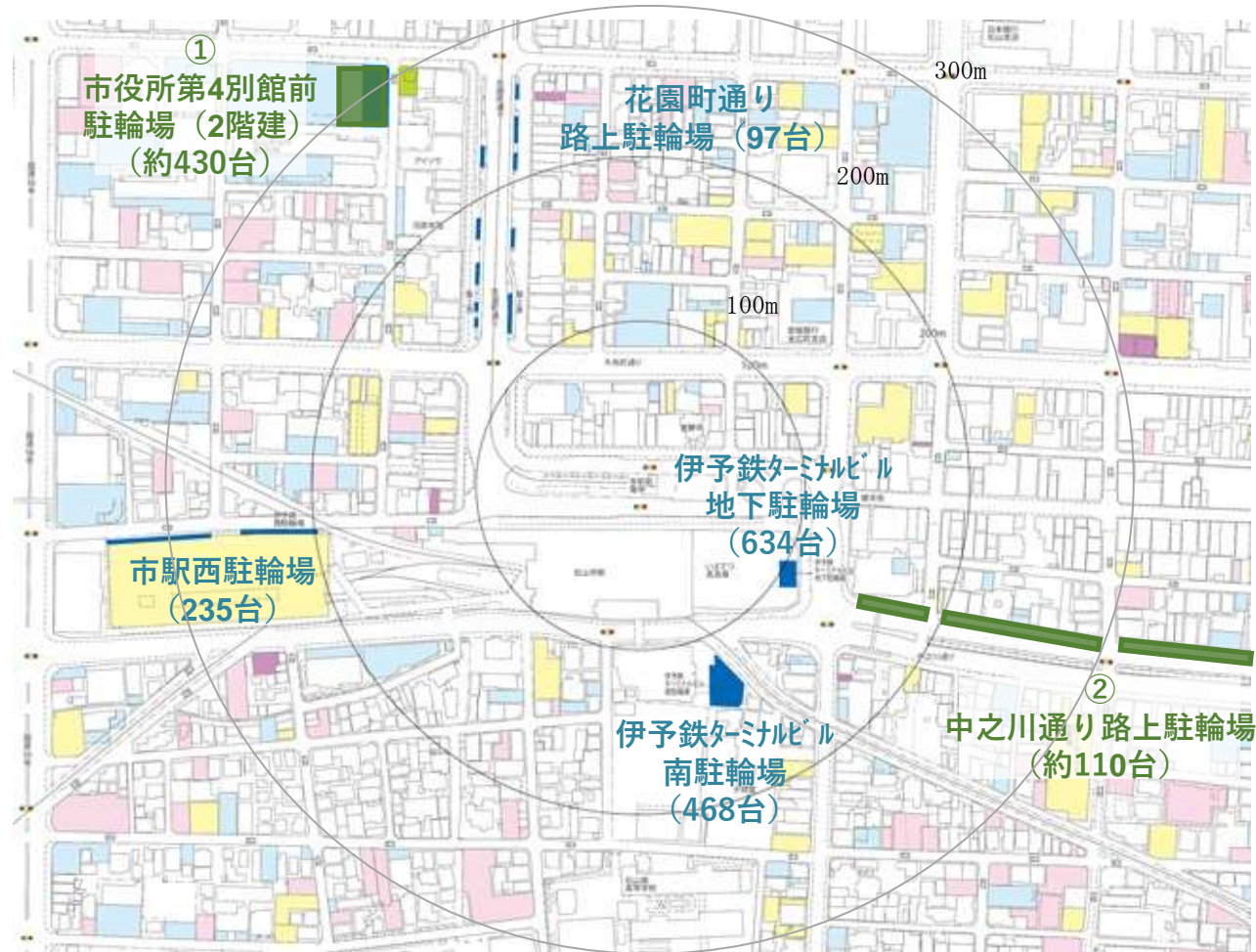
- ・ 広場整備の完成を予定しています。



周辺の駐輪対策

周辺の駐輪対策

- 市駅周辺には、令和5年度の実態調査では、平日約450台、休日約610台の放置自転車等があり、民間駐輪場の空きスペースを全て使用した場合でも、約250～300台分が不足する状況でした。
- ①既存の市役所第4別館前駐輪場(現状1階建て)を2階建てに変更し、②中之川通りの植栽スペース等を活用した路上駐輪場を整備することにより、必要な台数を確保します。



■整備イメージ

